

# システム変更等のお知らせ

(2018.7.10 - 2018.9.7 変更)

## 1. ハードウェア

- 1.1 Oakforest-PACS スーパーコンピュータシステム … なし
- 1.2 Reedbush スーパーコンピュータシステム (Reedbush-U/H/L) … なし

## 2. ソフトウェア

- 2.1 RedHat Enterprise Linux 7, CentOS 7 (Oakforest-PACS) … なし
- 2.2 RedHat Enterprise Linux 7 (Reedbush-U/H/L)

|                           |            |             |
|---------------------------|------------|-------------|
| Intel 開発環境 2018 (update3) |            | (2018.7.27) |
| Intel Compiler            | 18.3.222   |             |
| Intel MPI                 | 2018.3.222 |             |
| CUDA 開発環境                 | 9.2.148    | (2018.8.31) |

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのドキュメント閲覧より利用手引書または各資料をご覧ください。

## 3. その他

### 3.1 u-small-ext キュー新設

Reedbush-U システムでは昨今の混雑状況緩和のため、9月10日(月)より u-small-ext キューを新設いたしました。詳細は以下のとおりです。

#### ◆ u-small-ext キュー

- h-regular と 64 ノードを共有
- 並列数 (ノード数) : 4~16
- 制限時間 : 6 時間
- 優先度 : h-regular より低
- 消費係数 : Reedbush-U のキューと同設定

#### ◆ 注意事項

- Reedbush-U を利用できないグループはご利用いただけません
- CPU のみ使用するジョブの場合にご利用ください
- Reedbush-U ノードと通信性能が異なるため、ジョブの実行時間に影響する場合がございます  
(参考) Reedbush-U ノード : Infiniband EDR (100Gbps)  
Reedbush-H ノード : Infiniband FDR ( 56Gbps) ×2
- h-regular の利用状況次第では、ジョブが長時間実行されない可能性がございます
- 「rbstat --nodeuse」、「rbstat --rsc」 コマンド等でキュー状況を確認することはできません  
※対策を検討中

なお、u-small-ext キューは Reedbush 全体の稼働状況により、利用中止も含めて運用の見直しを行う可能性があります。予めご了承ください。

### 3.2 u-debug キュー最大ノード数変更

Reedbush-U システムでは混雑緩和策の一環として 8 月 31 日（金）の月末保守時に以下の変更を実施いたしました。

- ◆u-debug キュー（最大ノード数）  
24 ノード → 16 ノード